

会議録

| | |
|---------|--|
| 会議の名称 | 平成23年度 第5回西東京市文化芸術振興推進委員会 |
| 開催日時 | 平成24年1月16日（月曜日） 午前10時00分から午前11時35分まで |
| 開催場所 | 西東京市 保谷庁舎別棟 C会議室 |
| 出席者 | 委員：赤澤委員長、中平副委員長、朝井委員、仲川委員、武藤委員、鈴木委員、谷関委員、西田委員、古谷委員 事務局：南里文化振興課長、林文化振興課文化振興係長、渡部文化振興課文化振興係主任、春日文化振興課文化振興係主事 支援業者：小野崎、室井、小松（記録）（パンフィックコンサルタンツ株式会社） |
| 議題 | 1：第4回西東京市文化芸術振興推進委員会会議録について 2：パブリックコメント公表の変更について 3：計画について（説明） 4：計画の進行管理について 5：文化芸術振興基金について（説明） 6：その他 |
| 会議資料の名称 | 1. 第4回西東京市文化芸術振興推進委員会会議録 2. パブリックコメントの変更点 3. パブリックコメントにおける回答の変更点 4. 西東京市文化芸術振興計画 5. 計画初年度の事業案について |
| 記録方法 | <input type="checkbox"/> 全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録 |

会議内容

開会

○委員長：

1名の欠席があるが定足数を満たしているので、議事を進めることとする。

議題1 第4回西東京市文化芸術振興推進委員会会議録について

委員長から資料1に基づき説明

委員各位より承認された。

議題2 パブリックコメント公表の変更について

事務局から資料2に基づき説明

委員各位より承認された。

議題3 計画について（説明）

事務局から資料3に基づき説明

- ・ 前回の推進委員会で提案があった、名称に「推進」を追加する点について、事務局では次のように検討した。まず、本計画はパブリックコメントで内容の公表をしたが、名称に対する市民からの意見は無かった。また、施策等内容の変更に伴わない計画名称の変更は、返ってわかりにくいと考えた。更に、本計画は条例で定める「基本的な計画」にあたるので、条例名と合わせた形がわかりやすいと思った。以上の理由から、今回の資料でも、従来通りの計画名称「西東京市文化芸術振興計画」で提案をしたので、ご理解をいただきたいと思う。

委員各位より承認された。

（委員より意見）

- ・ 38ページの右側のイラストだが、中央で横笛を吹いている人物の向きが左右、逆である。
- ・ 表紙ならびに裏表紙の花びらの中の写真の説明がないと何を意味しているかわかりづらい。奥付の上部などに説明を入れてはどうか。

○事務局：

- ・ イラストについて、対応ができるか確認をする。
- ・ 表紙並びに裏表紙の写真は、概略の説明を奥付の上部に追加して記載する。

議題4 計画の進行管理について

事務局から資料4に基づき説明

- ・ 計画の進行管理については、計画の49ページにも記載しているが、特に計画実行

の初年度として、資料に示している事業案を考えている。ただし、次年度の予算が未定なので、事業の案であることをご理解いただきたい。

委員各位より承認された。

議題5 文化芸術振興基金について（説明）

事務局から説明

- ・ 計画の推進に向けた財源の確保について、計画にも盛り込まれているが、庁内の検討会では基金の設置の合意が得られている。今後は、基金条例を議会に提案し、予算の審議を経て、基金の設置となる予定である。

（委員より意見）

- ・ 基金の運用についてはどうなのか。
- ・ 運用する母体はどこか。
- ・ 西東京市文化スポーツ振興財団の寄付金が充当されるのか。
- ・ 基金の金額はいくらか。
- ・ 取り崩しは何年くらいと考えているのか。
- ・ 使い方はどのように決めるのか。例えば、資料 4 に挙げられている計画初年度の事業は市の予算で実施するのか、それともこの基金を使うのか。
- ・ 基金はいつからスタートする予定か。

事務局：

- ・ 基金には果実運用型と取り崩し型の2種類があるが、後者の取り崩し型を考えている。
- ・ この基金は、文化振興課で運用する。
- ・ 西東京市文化スポーツ振興財団の寄付金のうち、市が出資していた出損金以外の金額を基金として積み立てる予定である。金額は約1億円である。
- ・ 基金は、毎年一定額を使うと決めているわけではない。今後、十分検討する。
- ・ 初年度の事業は、一般財源と基金のどちらを使うか、検討したい。
- ・ 現在、基金条例策定に向け、準備を進めている。3月議会に諮り、来年度からスタートさせたいと考えている。

議題6 その他

事務局から報告

- ・ 計画冊子は出来上がり次第、郵送で各委員に送付予定である。尚、新年度は6～7月に新規委員の市民公募を開始し、次期委員による会議は8月に開催予定である。

○委員長：

- ・ 本委員会の会議録は、各委員の調整をもって承認とし、情報公開予定である。各委員へは2月上旬に事務局より連絡があるので、確認をお願いしたい。
- ・ 今後の計画冊子の微調整及びその確認は、委員長と副委員長に一任していただきたい。

委員各位より承認された。

○委員長：

また、本会議が今年度最後の委員会なので、各委員の感想を伺いたい。

(委員より意見)

- ・ 「西東京市文化芸術振興条例」が制定されて初の委員会であったが、市内の文化活動の状況が把握できて、有意義であった。アンケート調査や団体ヒアリング、庁内の取組調査などは勉強になった。次年度以降に行われる勉強会などで、更に知識を増やしたい。
- ・ 市が文化芸術に関する計画を作り、取り組んでいくことに意味があると思う。昨今は、鑑賞に対する興味が薄れている現状がある。「書を捨てまちに出よう」という言葉があったが、「まちを捨て書にもどろう」と言いたい。市民が良いものを見聞きできるように“誘う（いざなう）”ことが大切になってくる。
- ・ 質の高い計画ができたと思う。今後は実施段階なので、きちんと動かしていくようにすることが重要である。
- ・ アンケート等から出ている市民が求めているものを真摯に受け止め、対応していくことが重要である。市民がわかりやすい方法で実施することが大事であり、できると思う。
- ・ 本計画をきっかけとして、この地域で個々に活動している取組を知り、活かしていければよいと思う。
- ・ 市の文化行政における骨子は重要である。計画策定によって、その骨子ができたと思うので、ここからぶれないようにしなければいけないと思う。次年度事業案にある、PRなどについては、お手伝いしたい。

閉会